

□利用実証提案書
■利用実証計画書

平成 27 年 3 月 12 日 Ver.1.0

テーマ	高速道路本線上での位置情報の測位精度検証に関する実証実験	
実証参加機関 (共同機関)	東日本高速道路(株)	
目的	<p>現在 GPS を用いて高速道路管理車両の位置を把握し、オペレーションの効率化を目指した取り組みを実施しているが、GPS では2車線以上の高速道路の場合、走行車線・追越車線の特定ができない状況。</p> <p>よって本実証では QZSS 受信機を用いた場合の測位精度の検証を行い、GPS 測位との比較、評価を行う。</p>	
期間	全体	2015 年 3 月 1 日 ~ 2016 年 6 月 30 日
	時間・頻度	<ul style="list-style-type: none"> ●時間:0 時~24 時 ●頻度:3 月 1 日~翌 5 月 31 日の間の任意の日
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ●地名:北海道内の高速道路 ●環境:高速道路上(オープンスカイ、トンネル内部含む) ●その他:豪雨、大雪、寒冷地屋外など、あらゆる気象条件下で実施 	
構成 ※必要に応じて構成図等を次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●システム全体構成 <p>貸与頂く QZSS 受信機及び GPS 車載器等により取得したデータを PC 等に取り込む。機器構成等については、現在検討中。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●データ処理 <p>データ処理方法についても、現在検討中。</p>	
内容 ※必要に応じて次ページ以降に添付	<ul style="list-style-type: none"> ●実証概要 <p>貸与頂く受信機を自社で管理する作業車両(雪氷作業車及び道路点検車両等)に設置し、高速道路上を走行する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・端末設置状態 静止/移動(最大 100 km/h) ・アンテナ設置個所:車両の室内のフロントガラス付近 ・取得するデータ(NMEA/Raw データ) <ul style="list-style-type: none"> ●実証の確認及び評価(利用効果の定量的評価方法) <ul style="list-style-type: none"> ・取得データを地図へのマッピング(高精度地図、一般地図、Google map 等) ・基準点との比較(三角点、独自基準点等) ・他の方式での測位結果との比較(衛星測位、GPS、ビデオカメラ映像等)し誤差を検証 <ul style="list-style-type: none"> ●確認時期 <ul style="list-style-type: none"> ・リアルタイム、後処理両方にて検証 ・システム側の抽出データの提供を希望 	
受信信号	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号名を記載(信号名称一覧を参照) ・GPS:L1C/A ・QZS:L1C/A、L1-SAIF、LEX(CMAS) ・その他:他の衛星システム、屋内測位システム等 	
受信設備	<ul style="list-style-type: none"> ●使用する測位信号受信機などを記載 ■貸与品目/数(QZ1/ 24 台) 	

	<input checked="" type="checkbox"/> 貸与品目／数(QZNAV／ 1 台) <input checked="" type="checkbox"/> 貸与品目／数(JAVAD ALPHA G3／ 1 台) <input type="checkbox"/> 持込品目／数(GPS 車載器 等(詳細検討中) / 数台)
ソフトウェア	<input checked="" type="checkbox"/> 測位結果確認ソフトウェア <input type="checkbox"/> ソフトウェア名称／概要 使用ソフトウェア等詳細検討中
実証前の要求事項	測位点付近における QZSS の視認可能衛星数及び号機番号等
実証時の要求事項	受信状況測定時における QZSS の位置情報等の開示(測定後)
実証後の要求事項	現時点では想定していない
その他	